



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

# 議会だより



令和元年第2回定例会	2
議員別賛否状況	3
討論	4
一般質問(8名)	5
会期中の常任委員会等審議	13
常任委員会視察報告	15
議会日誌	16

## 第57号

(中央保育所 1歳児)

# 令和元年第2回 6月6日～14日

# 定例会



(本会議の様子)

第2回町議会定例会が、6月6日から14日にかけて開催され、補正予算関係の議案2件、条例2件が可決されたほか、平成30年度専決補正予算関係5件、専決条例5件、専決処分1件が承認されました。

また、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについては、適任として答申することに決定しました。

最終日には、追加提案された子浦川水防事務組合議会議員の選挙が行われ、4人が氏名推薦され当選しました。(4ページに関連記事)

## 令和元年度 補正予算の状況

会計名	補正後の予算額	補正額
一般会計	74億3,217万9千円	9,217万9千円
介護保険特別会計	18億8,367万9千円	900千円

### ○平成30年度 専決補正予算の状況

会計名	補正後の予算額	補正額
一般会計	76億5,591万3千円	▲1億3,716万7千円
国民健康保険特別会計	14億9,052万3千円	▲3,335万8千円
後期高齢者医療特別会計	1億9,792万3千円	▲85万9千円
介護保険特別会計	17億2,046万6千円	▲6,012万円
ケーブルテレビ事業特別会計	7,021万1千円	▲401万4千円

# 6月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

区 分	結 果	岩 根 信 水	勝 二 正 人	松 浦 文 治	林 稔	塚 本 勇 仁	土 上 猛	柴 田 捷	守 田 幸 則	北 本 俊 一	金 田 之 治	小 島 昌 治	北 信 幸
<b>●補正予算</b>													
令和元年度宝達志水町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
令和元年度宝達志水町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
<b>●条例関係</b>													
宝達志水町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
宝達志水町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
<b>●専決処分の報告について</b>													
平成30年度宝達志水町一般会計補正予算（第6号）	承認	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
平成30年度宝達志水町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	承認	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
平成30年度宝達志水町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	承認	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
平成30年度宝達志水町介護保険特別会計補正予算（第5号）	承認	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
平成30年度宝達志水町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第2号）	承認	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
宝達志水町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	承認	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
宝達志水町介護保険条例の一部を改正する条例について	承認	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
宝達志水町税条例等の一部を改正する条例について	承認	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
宝達志水町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	承認	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
宝達志水町過疎地域自立促進対策のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	承認	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
専決処分書（損害賠償の額を定め和解することについて）	承認	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	答申	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
<b>●報告</b>													
平成30年度宝達志水町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	法律により議会に報告が義務付けられているため賛否は問わない												
平成30年度宝達志水町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	法律により議会に報告が義務付けられているため賛否は問わない												

○は賛成、×は反対、△は退場を表しています。なお、議長は、議事進行を行うため賛否表明はしません。  
 賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明します。（「裁」と記載）

# 討論!



小島 昌治 議員

## 小学校費の1億9千万円余の繰越明許費に賛成

今回、町長より提案された、補正予算案及び専決処分について賛成する。今回は特に繰越明許費の小学校費について賛成討論をする。

昨年の8月13日、町内の5つの小学校と5つの保育所の夏の猛暑の実態調査を議会の教育厚生常任委員会が実施した。

この調査の結果を受けて議会閉会中の審査のために緊急であったが、議員の名だけの欠席で、教育厚生常任委員会を町長出席のもと開催した。この委員会では

は教員の方が言われた猛暑から子どもたちが「逃げる場所のない」学校施設の実態を委員会の共通認識とし、その対策の議論が始まった。政府が「災害」と位置付けた暑い夏だった。ある教員の方は「私たちも一生懸命頑張った。しかし、たまたま犠牲者になる子どもがいなかったのだと認識してほしい」と語られた。

議会は「今度、その『災害』が子どもたちを襲っても、絶対に宝達志水町の子どもたちを犠牲にしない」と決意し、審議にのぞんだ。審議の結果は、町議会と町行政の認識の一致を得ることができた。これは昨年10月1日発行の議会広報第54号で紹介している。

県内では、寶達町長が「小学校の各クラスにエアコンをつける」と表明した一番最初の首長となり、その後、県内の市や町にエアコンの設置計画が決まっていた。議会からは町長に「来年夏に間に合わせるために、基本設計の予算を一刻も早く計上するように」等の助言を何度も行った。

ところが、今回の繰越明許費では平成30年度のエアコン設置費の予算がそのまま、平成31年度に繰り越されている。そしてエアコンの設置工事の終了が、令和元年の8月下旬となっていることを町長から報告を受けた。何のための一年前の議論だったのか。宝達志水町より約一か月も遅くエアコン設置を表明した津幡町では、7月にエアコン設置の工事が完了すると地元紙で紹介されていた。設置の遅れは子どもたちの安全の保障を脅かすことになったことの猛省を町長はじめとする行政に求める。同時に、行政が主体となつてエアコン設置までの暑さ対策の具体的な取り組みを求め、繰越明許費の賛成討論とする。



### 令和元年度 町村議会議長・副議長研修会

令和元年5月28日～29日

議長 柴田 捷  
副議長 塚本 勇仁

全国町村議会議長会主催の研修会が東京国際フォーラムホールで行われ、石川県内からは、すべての町議会議長、副議長が参加し、全国からも、1800人余りがこの研修会に参加しました。

「これからの町村議会を考える」とした基調報告が山梨学院教授の江藤俊昭氏、明治大学教授の牛山久仁彦氏、首都大学準教授の3人の方からありました。また、議会改革を促進した3か所の町議会が「町村議会特別表彰」を受け、それぞれの議長が講演を行いました。

最後に、我が宝達志水町議会も、議会開催の在り方や、議会活動、住民との双方向型などを今まで以上に取り組んでいかなければならないと実感した研修でした。

### 令和元年第2回定例会 ～人事関係～

#### ○子浦川水防事務組合議会議員の選挙

柴田 捷 (新宮)  
岩根 信水 (二口)  
丸谷 重和 (子浦)  
堀田 忠三 (二口)  
(任期は、令和元年6月26日から4年間)

#### ○人権擁護委員の推薦

太田 永作 (免田)  
(任期は、法務大臣の任命を受けた日から3年間)

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



守田 幸則 議員

- ① 宝達志水病院に小児科を
- ② 小学校統廃合について
- ③ 宝達高校の支援について

- 町長 ① 近隣の医療機関と連携を図る  
 教育長 ② 2校同時に取り組むことが必要  
 ③ さらなる支援を考えていく必要がある

問 守田議員

議会全員協議会において、旧押水クリニックスの跡地賃貸に関する要望についての説明があった。旧施設を利用してクリニックスを開業したいとするもので、内科、循環器科、訪問診療、小児科を行うとのことであった。

しかし、濱中病院事務局長からは、当面は安定的な経営を目指して小児科は置かないと答弁があり、病院経営の安定化は、理解はできるが収益性のみを理由に、結論づけるのではなく、公益的な観点から宝達志水病院に小児科を再開するよう努力をすべきではないか。

昨年6月の病院運営特別委員会では、小児科再開について、外来の再開ができるよう努力を続けるとの答弁がされていた。いつ、小児科を置かないことに変更されたのか。もともと志雄病院のときには、小児科があったが、なくなつた経緯や今後の方針をお聞きする。

答 寶達町長

宝達志水病院には現在、小児科は無いが、小児科対象患者を受け入れ、近隣の開業医、公立羽咋病院等と連携を図りながら小児医療を行っている。病院連携の中で小児医療をカバーしていきたい。

再質問 守田議員

以前は、小児科を置くことに努力をしていくと言っていたが、いつ置かないと決めたのか。

答 寶達町長

明確にいつとは難しい。小児科医の確保等には努めているが困難な状況である。

再々質問 守田議員

一番大事なのは、安定した経営と公益性を重視した地域密着型の医療を提供できる病院であることだと思いがいかか。

答 寶達町長

議員の意見のとおり、子育て施策の観点からも町内での小児科開設は、望ましいもの

であり、できる限りのことに取り組んでいきたいと考えている。

問 守田議員

① 北山教育長におかれては、行政経験も長く、町の中核において、中学校や、保育所、公共施設等の統廃合に関わっておられるが、教育長として小学校の統廃合問題に直接携わることとなるに当たって、これまでの経験や町の現状等を踏まえて、どのように感じ、どのような形が望ましいと考えておられるのかお伺いする。

② 本町では、毎年、宝達高校を支援する会に助成金を交付し、学校の諸活動に対して財政的な支援を行っているが、生徒数の減少やそれによる諸活動の縮小も余儀なくされてきているが、北山教育長の宝達高校が存続していくために取り組むその所見をお伺いする。

答 北山教育長

① 私のこれまでの経験に基づく一般論として述べるが、2校への統廃合時期が計画時点で異なる、もしくは不明なまままで1校だけ先に進めるということは、地域住民の理解を得るうえで好ましくないと考え、2校の設置場所やその時期を明確にしたうえで、2校同時に取り組むことが必要と考える。

② 生徒数確保のため、これまで宝達高校に対して行っていた各種支援策の継続と拡大に向け、さらなる検討は欠かせないものである。

現在取り組まれている方策としては、教材開発や多様な生徒主導の指導方法などの研究を行うなど、教員の授業力を一層高め生徒の意欲を引き出して、選ばれる高校を目指しているが、これらに加えてどのような方策があるか、考えていく必要がある。

# チラシやポスターなどを活用した 広報活動について

## 町長 チラシやホームページで 町の魅力を効果的にPRしていく



岩根 信水 議員

問 岩根議員

私は、現在の宝達志水町のホームページは、非常に幅広く本町を知ることができるとは思いますが、内容であるという感想を持っている。しかし、このホームページへのアクセス件数はどの程度なのか。幅広い世代で閲覧されているのか。という点が気掛かりである。

まずは、本町の魅力や施策などが、チラシやポスターなどで自然に目に入る形態でアピールをして、この宝達志水町が観光や移住・定住先として候補に挙がるということ

が重要であると考えているが、広報活動を今後どのように推進し、展望を見据えていくのかを伺いたい。

答 寶達町長

町のホームページのアクセス件数については、平成28年度には、23万4千935件、平成30年度においては30万5千205件となり、年々アクセス件数は増加している。チラシについてはその特性を踏まえて町内の観光施設、飲食店、金沢駅やのと里山空港などに設置しているほか、事業内容によっては各世帯の配布を行いPRしている。

本年度は新たにオムライスチラシを作成したところである。なお、紙媒体のチラシでは拡散規模が限られ、掲載情報に変更が生じるたびにコストがかかることから、それを補うためにこの3月に観光ホームページをリニューアルし、お店の最新情報を分かりやすく表示する工夫をした。

今後は、インターネットサービスを活用した動画広告も行っていく予定である。今後は町のホームページ、

観光ホームページにアクセスした人がどのような情報に関心を持っているか等のデータを収集・分析し、町の魅力や施策を効果的にPRしていきたい。



宝達志水町情報サイト

再質問 岩根議員

インターネットの活用はとても良いと思うが、年配の方などパソコンを所有していない方々へも配慮した広報活動をするべきであるが、どのように対応するのか。

答 寶達町長

どんな年代の人が、どんなことを知りたいのか、観光や町のサービスのことなど、受け手の人の知りたいことを、その立場に立って、広く浸透できるように検討していきたい。



# 公共交通に対する具体的対応策は



松浦 文治 議員

町長 地域公共交通網形成計画を策定し、持続可能な公共交通網を構築していく

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)

問 松浦議員

先月、町の教育を司る教育長が変わったところだが、改めて寶達町長が宝達志水町の教育について、取り巻く環境はどのようなものであり、町の教育行政にどういった課題があると認識しているのか。町長としては、それを教育長が変わった教育委員会がどのように取り組んでいってもらいたいのか。

答 寶達町長

小学校統廃合を初めとした教育施設環境等の整備、児童生徒の学力向上、青少年の健全育成、生涯学習の普及と推進、歴史文化遺産の活用や周知、国際交流事業など、多岐の分野にわたっており、これらの諸課題に真摯に取り組むとともに、将来の町の発展を担う子どもたちに、確かな学力の習得、豊かな心、健康な体を育むためのバランスのとれた教育環境の充実に取り組むことを期待している。

問 松浦議員

①本町における65歳以上の高齢者の運転免許の保有状況及び高齢者の免許証の自主返納状況はどうか。

②本町で行っている高齢者の免許証の自主返納支援の取り組みについて、これまでこの取り組みを利用して、何人程度の方が免許証の自主返納を行ったのか。

③町として、高齢運転者の交通安全対策の一環として、町内の高齢運転者を対象としたドライブレコーダー購入補助金制度を創設してはいかがか。

また、併せて、周りにドライブレコーダー搭載を知らせるステッカーを作成・配付すればいかがか。  
④4月に公表された第2次宝達志水町総合計画を策定するに当たって実施された町政への評価や、今後の動向を把握するために実施されたアンケートの結果が出たが、公共交通に関する部分について、町長としてどういった所感を持ったのか。  
⑤公共交通に関する町民からのニーズについて、住民満足度の向上を図るために着実に対応していくべきと思うが、今後、具体的にどのように対応していくのか。

答 寶達町長

①65歳以上の運転免許証の保有状況は、平成31年4月末日時点で3121人であり、高齢者の免許証の自主返納状況は、昨年は60人、一昨年は27人となっている。  
②自主返納支援として、商品券やデマンドタクシーの利用券を交付しており、これまでに149件の申請があった。  
③新たな補助制度創設については考えていないが、ドライブレコーダー設置についての普及促進や啓発活動を推進していきたいと考えている。ステッカーの作成・配布については、ドライブレコーダー設置と一体であることから作成しない。  
④第2次宝達志水町総合計画のアンケート結果では、「巡

回バスなど公共交通の利便性」における満足度が低く、また「町に住んでいるところで不満なことについて」は、「買物物が不便」が51%で最も多く、次いで「交通が不便」が42%となっている。  
このアンケート結果を真摯に受けとめ、課題解決に向けた早急な取り組みが必要であると考えている。  
④今後、地域にとって望ましい公共交通網の将来像を定め、マスタープランとなる地域公共交通網形成計画の策定が必要であると考えており、その計画の中でさまざまな移動手段の役割をさらに明確にし、運行エリアや計画が重複するサービスの整理と見直しを行い、持続可能な公共交通網を構築していきたいと考えている。

## その他の質問

地域の「いわれ」を活用した地域おこしについて

# たばこの喫煙対策について



土上 猛 議員

町長 受動喫煙に配慮しながら、  
屋外で喫煙できるスペースを確保する

問 土上議員

たばこの喫煙対策についてお聞きする。

地方公共団体などの行政機関の庁舎は、新法第25条において、国民や住民の健康を守る観点から、受動喫煙対策を総合的かつ効果的に推進するよう努めなければならぬ責務が課せられていることを踏まえ、受動喫煙対策をより一層高めた措置を自ら講ずることが必要となるものである。

町のたばこ税は平成29年は約6千万円、平成30年は5千八百万円の収入が見込まれており、年々収入も減額傾向である。町有施設は、空気のきれいな場所です仕事及び町民の来客者を迎え入れてはどうか。現在、この2階の大集会室の横を喫煙場所としているようであるが、正面から見ると気持ちいいものではない。

答 寶達町長

役場庁舎については、平成

25年度より屋内全面禁煙としており、屋外において分煙に配慮した形で喫煙スペースを設けている。

役場庁舎については、受動喫煙に配慮しながら、屋外で喫煙できるスペースを確保したいと考えている。

問 土上議員

防護をしながら、数力所を確保するというところであるが、この場所については現在の場所をそのまま考えているのか。また、改めて裏側のほうに場所を設けるのか。町長自らもたばこをまだ喫煙されているようだが、やるつもりはないのか。

答 寶達町長

健康を害さない程度に吸わせていただきたい。また、マナーをしっかり守り受動喫煙にもならないようにしていきたい。

答 参事兼総務課長

喫煙場所については、今と同じような場所である。その

場所について、適当かどうかは、関係者と相談の上、設置していくということと考えている。

問 土上議員

東部保育所の売買についてお聞きする。

この跡地の売買について、三、四年前、売買のための価格査定を行ったときは380万円ほどの値がついていたと覚えているが、今回の値が192万円に下がった価格と聞いた。半値ほど下がったわけだが、その価格が下がった原因は何か。

また、福祉施設の再利用であれば、保育所を建てるときに国の補助金もいただいている関係から、国の補助金の返還が必要なかったのではないかと、保育所を買われた方はどういう目的で買われたのかお聞きする。

答 寶達町長

価格の変動について、変動原因は、不動産市場の状況に

において、土地については標準価格の推移等、建物については再調達原価及び経年減価をそれぞれ検討し、さらに土地建物一体としての市場性を総合的に勘案し算出した結果である。特に、対象不動産は用途が特殊であり住宅等と比較すると、購入者が限定され、平成20年3月に閉鎖以降、改修、修繕がなされておらず、利用には多額の費用を要することなどで市場性が下がったためである。

補助金返還については、建物整備に補助金の交付を受けているので、福祉目的でも、建物を有償で売却した場合であれば、返還金は必要となる。また、購入者は木工家具製作者で、製品の展示や保管に利用するほか、将来的には町内の児童・生徒を対象に、木工工作のワークショップを開催する計画となっている。なお、売却先、計画の審査においては、地元の代表者にも面会の上で意見を伺い、4月に売却契約を行った。



# ①集落の消火栓ボックスについて ②耕作放棄地の解消対策は



勝二 正人 議員

町長 ①消防署の協力を得て点検し、消防器具等の購入には助成金  
②地域や農業委員会と連携し解消に向けた取り組みを支援していく

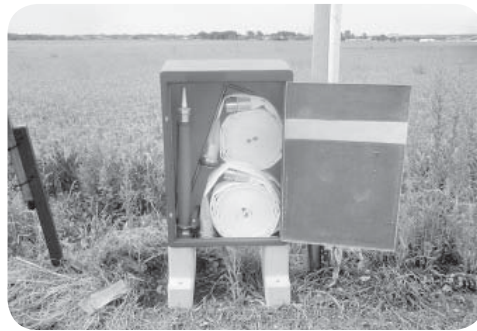
一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)

問 勝二議員

火事の被害を最小限にするには、初期消火が重大な行動である。各集落に消火栓ボックスが数箇所、多い集落では、二十所ほど設置してあるが、消火栓ボックスのホースが使用不可能な状態であると聞く。穴が開いているもの、対応年数の過ぎたものはないか点検して、場合によっては新しいホースの購入が必要になる。いざ購入するとなると経費がかかるが、どのようなホースの点検方法があるか。また、ホース購入時の補助があるかお聞きする。

答 寶達町長

消防ホースの点検方法については、各集落において定期的な目視で確認する、また防火訓練で使用する等して状態確認をしている集落がある。自主的な点検が困難な場合は、宝達志水消防署の協力を得て、ホースの水圧検査などの点検を行うことができる。



消火ホース格納箱

また、ホース等の購入時における補助については、宝達志水町消防施設整備事業の助成金の中で、消防器具等の購入にあたり、補助率を2分の1とし、上限額を10万円として助成をしている。

問 勝二議員

①近年、農家の高齢化が進み、農業をやめる人が増え続け、特に稲作農地の維持ができない状況が見られる。また、集落営農組合でも高齢化が進んでいる。一度荒れた農地を元に戻すには、多大な能力と資金が必要となることから、何らかの対策

が求められるが、町としてはどのような対策があるかお聞きする。  
②稲作農地を維持していくためには、担い手不足の解消が必要であり、その中でもリーダーとなるべき人材の養成が重要であるとされるが、どのような支援対策があるかお聞きする。

答 寶達町長

①耕作放棄地の解消対策は必要な課題と認識しており、町としても、多面的機能支払交付金事業や中山間地域等直接支払交付金事業の支援を行っている。また、農用地の維持や耕作放棄地の解消、農用地の有する洪水防止や水源かん養など多面的機能の保全を図る活動組織に対し、交付金を支給している。

多面的機能支払交付金事業においては、17組織、27集落、約921ヘクタールの農用地で活動に取り組んでいる。また、中山間地域等直接支払交付金事業においては、18組織、16集落、約212ヘクタール

の農用地で保全活動が行われており、今後も、地域や農業委員会などと連携しながら、耕作放棄地解消に向けた取り組みを支援していきたい。  
②新規就農者や認定農業者の育成や支援は重要と考えており、今年の3月に2名の新規就農者を認定しており、専業農業者として営農を開始している。また、農作物の生育状況や融資について相談を行うなど、幅広くサポート体制を取り支援している。

今年度、人・農地プランの大幅な見直しを検討しており、各集落や生産組合等と地域の話し合いや意見の集約を行い、プランの見直しに取り組むとともに、地域、行政、JA等が連携して地域のリーダーを育てていきたいと考えている。

①ヘルプマークの周知を  
 ②RPAの導入について  
 ③宝活会議の活用について



林 稔 議員

- 町長 ①多くの人に広まるよう、一層の普及を目指す  
 ②実証実験を行い、導入を検討する  
 ③SNSなど情報発信のサポートをしていく

**問** 林議員  
 宝達志水町では、5月15日からヘルプマークの配布を始めたが、ヘルプマークの周知をどのようにお考えか。

**答** 寶達町長  
 町では広報やホームページ、安心ホットメール、啓発用チラシ等により町民に広報している。

ヘルプマークについては、援助が必要な人への周知と共に、多くの人にヘルプマークの理解と思いやりの行動が広がるのが大切であり、今後、ケーブルテレビの番組や文化祭などの機会に多くの人に周知活動を行い、一層の普及を目指したいと考えている。

**問** 林議員  
 RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは、バックオフィスにおけるホワイトカラー業務といった、これまで人間が手作業で行っていた仕事を、ルール

エンジンやAI、機械学習などの認知技術を取り入れたロボットに代行してもらうことにより自動化や効率化を図るものである。その効果や他自治体での導入事例についてお聞きする。

業務効率化やサービス向上を明確に目指してRPAの導入を進めるのが望ましいと考えるが、国の補助制度や民間事業者のサポートを活用し、職員に対しても仕組みやメリットを周知するとともに、RPAに適した事務事業を選別することから取り組みを始めてはどうか。

**答** 寶達町長  
 県内では、加賀市において時間外勤務集計業務や契約・電子入札に関する業務、財産貸与・使用許可に関する業務等にRPAを導入している。これらの業務に年間365時間間の作業時間を要していたのに対し、RPAの導入により、269時間、率にして約74%

の削減をし、大きな効果を上げている。  
 本町では、今年度予算においてRPAの導入に向けて、実証実験の実施に係る経費について計上したところであり、今後は、実証実験の結果について検証を行い、支援制度等も有効的に活用しながら、本格的な導入について検討していきたいと考えている。

**問** 林議員

宝活から15のグループが生まれ、さまざまな活動が行われたが、今年3月で一旦終了した。宝活のホームページには、各課の補助制度が案内されており、それを利用して定住者を増やし、色々なグループを育てることで、定住者の安心感にもつながる。また、子育て支援のグループや幼児教育の集まりなど安心して生活できる宝達志水町を目指して活用すべきである。

**答** 寶達町長  
 ①宝活発足以降の活動内容  
 ②今年度からの活動体制の変更について、また、

変更について、参加者から理解を得られているのか。  
 ③今後も活発な活動がされるようなサポートが必要と考えるがどうか。

**答** 寶達町長

①情報交換、交流、学びの場として、宝活会議を計7回開催し、プログラムの企画、会議運営、講師派遣などの支援を行った。また、宝活のホームページの中で、町で活躍する人や店舗、企業、宝活で活動する各団体などを取材した紹介記事を情報発信している。  
 ②今年度からの活動体制は、これまで町が運営していたSNS及び「宝活」の名称を使ってもらい、自主的に自社商品の開発や体験プログラムのPR等に活用できるよう環境整備を行った。  
 ③各団体等が自主的に活動できるよう、講師の派遣や宝活メンバーの各種イベント・ビジネス情報の紹介記事などをウェブサイトでSNSで掲載するなど、情報発信の立場からサポートしていきたい。

# 御上使往来の管理・整備について

町長 環境整備ができるよう検討していく



塚本 勇仁 議員

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)

問 塚本議員

改元に伴い、一躍注目の的となっている高岡から本町を経ている歴史の道百選にも指定されている御上使往来について、その歴史的価値と意義についてどのようなようにお考えか。

大伴家持や蓮如聖人が往来した御上使往来の管理において、本町と氷見市側での整備や維持管理の状態で大きな差があるように見えるが、その原因はどこにあるのか。また、同じ道として整備が必要ではないか。改元に際して、注目を集めていることも考慮して、郷土に対する関心を深めるために、町民に対して御上使往来の価値や意義を啓発するとともに、官民が連携して整備・維持管理を進めていってはどうか。

答 寶達町長

白ヶ峰往来は、古代から江

戸時代の幕府「御上使」の通る官道として史跡として指定されている。この古くからの官道があった事は、子浦の宿場町としての発展などに繋がっており、ふるさとの歴史の成り立ちを知るためにも、重要なものと考えている。

整備と維持管理については、周辺地域が有する歴史遺産を合わせ、観光資源としての活用も含めた環境整備ができないか検討していきたい。

再質問 塚本議員

御上使往来についての整備を今後検討していくということだが、これから季節柄もよく、歩こう会の人たちが歩いているが、今現在、通行止めとなっていることはご存じか。いち早く解消してほしい。

答 寶達町長

指摘のあった箇所については、しっかりとやっていきたい。

問 塚本議員

5月に行われたバイクの集いSSTRについて、町または民間からのような協力がなされたのか。また、他の自治体ではどのような取り組みがなされたのか。町内に宿泊したライダーからどのような感想を得られたのか。

SSTRは、日本屈指のバイクイベントに成長しており、千里浜なぎさドライブウェイはバイクの聖地として全国的な認知を得ている。

町全体としてSSTRを盛り上げると共に町内事業者から参加ライダーに積極的なサービス提供がなされるためにイベントが町内にさらに浸透することが望ましいと考えている。広報の強化や、当日を「バイクの日」に定めるといった思い切った取り組みをしてはどうか。

答 寶達町長

SSTRは、今年で7回目

の開催となり、今回は過去最高の約3900台が集結した。本町からは、交通誘導のほか、ゴールフラッグや歓迎看板の設置、ほっぴーさんオリジナルステッカーの配付、千里浜の歓迎イベントでは、よさこいや獅子舞の出演者との調整を行った。

民間からは、宝達志水スポーツクラブによる臨時休憩施設の開設、宝達志水関東ふるさと会は、簡易ゴールゲートの作成・設置、古民家を活用した簡易宿泊所の運営協力を行った。羽咋市も臨時休憩施設を開設した。

今後も、町内事業者によるサービス提供の呼びかけ、ふるさと会との連携も継続し、参加者と町民が触れ合える場所を増やしていきたい。

また、広報の強化については、観光ページでイベント等を紹介し、デジタルプロモーションの中で広告宣伝活動を行っていく。

## その他の質問

問 関東ふるさと会との連携・未来について

① 介護保険サービスをフルに利用するには？  
 ② 学校給食の無償化、国民健康保険税の子どもにかかる税金（均等割）の免除を



小島 昌治 議員

町長 ①各分野の方と連携強め必要な調査を行っていく  
 ②給食の無償化は考えていない。子どもの均等割りはこれまで通り徴収する。

問 小島議員

介護保険を利用できる世代の方をとりまく状況は大変である。毎年、年金が下がる一方、物価や税金や光熱水費が上がるというひどい状況だ。そんな中で、介護保険サービスを利用するに際しては、定額である利用枠をフルに利用できないのは「なぜか」をケアマネージャーに聞くと「介護サービスを限度額いっぱい利用できる（経済的）余裕がない方が増えている」と。介護サービスを利用している方に聞くと「年金は介護サービスだけに使うわけではない。介護保険の保険料や医療費にもかかる。税金も上下水道料金にも使う。買い物にもかかる。（だから介護サービスは我慢しなければならぬ）」と。私は町内の方々には介護保険を十分に利用してほしいと考え、そのために2点提起したい。第1点目は、介護度が「4」や「5」の方は（条件さえ満たせば）月額3

万円近くの特別障害者手当を受給できる可能性がある。この制度は家族が申請しないと受給できないが、この制度の徹底周知とケアマネージャー等と連携を取りながら受給できるように町がすべきだが、いかがか。第2点目は、介護サービスを利用するに際しては、定額である利用枠をフルに利用できないのは「なぜか」をケアマネージャーに聞くと「介護サービスを限度額いっぱい利用できる（経済的）余裕がない方が増えている」と。介護サービスを利用している方に聞くと「年金は介護サービスだけに使うわけではない。介護保険の保険料や医療費にもかかる。税金も上下水道料金にも使う。買い物にもかかる。（だから介護サービスは我慢しなければならぬ）」と。私は町内の方々には介護保険を十分に利用してほしいと考え、そのために2点提起したい。第1点目は、介護度が「4」や「5」の方は（条件さえ満たせば）月額3

答 寶達町長

特別障害者手当を受給できるように、連携、支援、援助していきたい。また、介護サービス利用料金の減額制度については、五百万円までできるが、来年度の介護保険計画策定に合わせ、必要な調査を行っていく。

問 小島議員

次に、子育て支援についてお聞きする。第1は、放課後児童クラブについてである。国会で指導員の数が国が自ら定めた「一人以上」という最低基準から、無資格の方が一人での運営もできるようになりました。これでは事故や災害時の対応も一人になりません。法改正後もこれまで通り、放課後児童クラブの質を守るため、複数の指導員体制であるべきだが、いかがか。第2は、全国で広まってきた学校給食の無償化についてである。文科省も調査を開始するという状況である。県内でも3自治体で実施している。私が計算したら、二人目のお子さんからは無償とするには3千万円強でできる。いかがか。第3は、国民健康保険税の子どもにかかる税金（均等割）をなくすことである。2億6千万円ある国民健康保険の基金（貯金）の350万円を使えばできるがいかがか。

答 寶達町長

本町では、支援員の数を2人以上としており、放課後児童クラブの質をこれまで通りするために、支援員の基準を変更せずにやっていくことが重要である。学校給食の無償化は確かに県内で1市2町で実施している。いずれも第2子または、第3子以降に給食費が無償である。本町では、現在のところ、考えていない。国民健康保険税の子どもの均等割の減免については税の公平性の観点から難しいと考えている。これは国において検討がされるのがよいと考えている。今後も国や県の動向を注視しながら、他の自治体と一緒に国に働き掛けていきたい。

その他の質問

「来年度から始まる、会計年度任用職員制度」についても質問し、「これまでの、非正規の職員の労働条件を悪化させないよう」求め、町長からは「悪化させない」との答弁があった。

会期中の  
常任委員会等審議

病院運営特別委員会

(6月7日)

問 旧押水クリニックの跡地賃貸の状況と行政の思いは

答 旧押水クリニック跡地に医院を開業したいとの要望書が提出されているが、今は賃貸契約を結ばないという考えである。

問 宝達志水病院の中の売店の存続についてはどうか

答 院内売店はなくすわけにいかない施設という認識だ。そのため、町内業者の方々には営業をしてほしいとのお願いをしている。その中で、9月いっぱいまで店が閉じられる子浦区のAコープの跡地での生鮮食品等の営業と抱合せて病院の売店を位置付けている業者がいる。現在リサーチ中とのことである。

問 返事はいつまで待つのか

答 業者の方は「町は返事を急いでいるだろう」と言ってくれているので、近々返事を頂けると思う。

問 町民アンケートにも多く寄せられている、宝達志水病院内での小児科の開設についてはどうか。

答 宝達志水病院の医師すべてに小児科対応ができるかという点と厳しいものがある。また、昨年一年間で、県内の医学部の卒業生が小児科の専門医になったのはわずか4名という状況もある。

問 町民要望にこたえなければならぬという使命感は持っているか。

答 小児科医が足りない状況というのは全国的な状況だ。そのため、内科医で小児科はじめ、高齢者の病気一般も診れる医師が求められる。医師の資格であるプライマリケア専門医を宝達志水病院で作ることが求められている。3年ほど研修が必要で、研修をどのようにする

のかの調査を含めて、調べる必要がある。

問 小児科医の少なさをどう補っていくかは日本全体の問題。大学教育も専門性として臓器にこだわる傾向は変わらない。そんな中で広く診ることができる総合医療が求められている。小児科の問題は積極的に考えていかなければと思っている。

ただ、ご指摘があったプライマリケアの専門医研修については、研修に出す余裕がないという状況もある。

問 研修の形態はどのようなものか。研修の3年間は宝達志水病院の外来を受け持つことができるのか。それまで、どうするか。

答 研修はトータルで3年間で、外来の都合も配慮し、時間がかかるが、受講は柔軟にできる。当面は、羽咋郡市の小児科を標榜している病院やクリニックで対応を願う(うち現段階では常時、小児科の医者がいるようにするということは難しいので、

夜など救急的な時に小児科を対応できるよう考えたい。

委員会の最後に

宝達志水病院の経営状況の報告を受け、若干の質疑応答を行った。

また、「小児科」の問題は宝達志水病院だけでなく、全国的な問題になっている。問題解決のために、宝達志水病院関係者と議会、国内の公立病院で小児科がなくても内科医がプライマリケア専門医の資格を得て小児科など対応しているところに行つて学んでいきたい。

教育厚生常任委員会

(6月10日)

問 スクールサポートスタッフは、どこの小学校に配置するのか。

答 児童数が一番多い志雄小学校に配置する。

問 相見小学校の鉄棒について、現在使用中止になっているのか、また、予算が通つたら早急に対応してほしい。

答 点検の結果、危ない状況であるため現在使用禁止になっている。承認されたら撤去、設置工事の業務を速やかに実施したい。

問 道徳教育推進校について毎年実施しているのか

答 毎年、実施校については、県の方で選定している。今回は樋川小学校、昨年は宝達小学校で実施している。

問 小学校のエアコンの繰越予算について、現在でも暑い日があるが7月までに間に合うのか。また、工事の進捗状況は。

答 設置工事の契約が3月末の契約となり繰越事業となっている。工事期間は約4ヶ月

答 生徒の指導や授業に直接的に関わらない業務として、印刷業務、教材制作、採点業務、集金業務、ホームページ作成や更新の補助など、資格は特段ない。

5か月となっており、工事内容としてはキュービクルの新設・増設は製作発注となり3か月を要する。それ以外にも工事作業は土・日と夏休みを中心として実施することから、2学期からの稼働を予定している。今後、外構工事や室外機設置のための足場設置の工事が予定されている。

**問** 風しんを行ったかどうかの確認は、どうするのか。どの程度の受診率を想定し、受診勧奨はどうするのか。

**答** 医療機関で予防接種を受けた対象者の予診票とクーポンで、国保連合会経由で町に送付されたものをコンピュータで管理し、年度末に未受診者には受診勧奨を計画している。

**問** 国保の健診受診率が増える

と国からの補助金が増加するが、風しんの予防接種率が多くなると、国からの支援費は増えるのか。

**答** 風しん予防接種は、国保の方だけではなく、他の保険の方も対象であるため、国保事業の支援費と連動することはない。

**問** 高齢者の予防接種率を上げることで、医療費を下げたいと思わないのか。

**答** 今年度から羽咋病院・二ツ屋病院にも問診票を配置して、希望の対象者が受診しやすいように考慮した。高齢者肺炎球菌の対策は、未受診者に受診勧奨をしている。また今年度から、はがきでなく問診票を同封し郵送した。

**問** 健診後に要精検で病院に受診すると、国から2万円の補助金があると聞いたがどうなのか。

**答** 特定健診や特定保健指導等に関する諸経費が対象となるが、要精検の方が病院を

受診したことによる補助金はない。

**問** マイナンバーカードの交付数1525枚、交付率11.6%というのは、他市町と比べてどうなのか

**答** 県内では、小松市に次いで2番目の交付率である。

**問** 白ヶ峰往来について、要望書が提出されているが、一連の対応はいつ頃どのように対応するのか。

**答** 要望書に対する現地確認をした。財政課と相談し、早いうちに対応できるものは実施していきたい。

**問** 宝浪漫マラソンのボランティアの参加人数、役割分担、人員配置についての問題は改善されるのか。

**答** 県内大学の学生をはじめ、町内の中学生・高校生及び各種団体等にボランティアの参加を呼びかけ、適切な役割分担や人員配置を考えている。

**問** 宝浪漫マラソンの交通規制は、どのような方法で周知するのか。

**答** 道路案内看板を増やして、通行止めや迂回路を事前に設置し、メディア等を活用し、宝浪漫マラソンコース等を事前に周知することも検討している。

**総務産業建設常任委員会**

(6月12日)

**問** 気仙沼市の派遣はプレミアム商品券事務と関係があるのか。また、派遣理由は。

**答** プレミアム商品券事務とは関係ない。災害復興支援で派遣しており、観光による地域づくりのために行っている。

**問** プレミアム付商品券事業の進め方について

**答** 商品券は全員に5千円分を配布するのではなく2万円分2万5千円の商品券を買っていただくことになるが、購入は任意である。手続きは、町から購入対象者に申請書を送付し、購入希望者からの申込みにより手続きを行う。販売業務は、押水、志雄地区で窓口販売ができる郵便局にお願いしたい。

**問** 町は郵便局に丸投げするのではなく、町商工業者にメリットがあるようにに最大の配慮をお願いしたい。

**答** 消費喚起等については、商工会と連携し進めていく。販売業務は多額の金額を取

り扱うことになるため役場の窓口では、非常に煩雑となることから郵便局対応を進めたい。

**問** 低所得者に配慮し販売窓口を、健康福祉課でも対応できないか。

**答** 今のところ健康福祉課での窓口対応は考えていない。

**問** プレミアム付商品券事業の対象者は何人か。また、対象外商品とは。

**答** 住民税非課税者と子育て世帯2,750人位を見込んでいます。対象外商品は、タバコ、換金性のあるもの、不動産、金融商品などがあげられる。

**問** プレミアム付商品券事業の対象者2,750人の内訳は。

**答** 住民税非課税者約2千5百人、子育て世帯で約250人を見込んでいます。

# 常任委員会合同視察報告

## 6月19日～21日

### 北海道

### あしよろちょう 足寄町・ しかおいちょう 鹿追町

総務産業建設常任委員会

委員長 土上 猛

鹿追町は、面積404.70kmのうち山林が49.8%を占め、人口5,295人、世帯数2,430世帯、65歳以上の人口1,613人と高齢化率が高くなっています。しかし、一般会計予算が8億1千6百万円と非常に高くなっています。

また、平成23年5月から全面施行した議会基本条例では住民との直接対話を行う議会報告会「まちなか会議」を年2回以上開催すると規定しており、今年度も3回開催するなど、積極的に行っていました。本町も早く基本条例の施行を考えるとかなければならないと痛感いたしました。



鹿追町役場

その他では、昭和60年からカナダ・アルバータ州ストニイプレン町と姉妹締結し、平成27年に30周年を迎えました。毎年、短期交換留学で鹿追高校1年生の全生徒を派遣していることは素晴らしいことだと思います。

教育厚生常任委員会

委員長 林 稔

宝達志水町への町としての取り組みと子供たちの学力向上について、また議会改革について学ぶため、6月19日から21日にかけて、北海道十勝地方の足寄町、鹿追町の二町の道立高校への積極的に支援している状況について、各町の教育委員会と町議会議員の方々との意見交換を行いました。

足寄町は、日本一の面積の町なので、高校生の寮を拡充することに町が力を入れていきます。また、学力向上にも力を入れ、学習塾指定管理者を決めて、足寄高校生は負担なしで学習塾で勉強ができ、実績を上げています。

鹿追町は、小中高一貫教育を平成14年度から平成30年度まで、文部科学省の指定を受け、研究開発事業の指定終了に伴い、一貫型のコミュニケーションスクールを導入しました。この研究開発事業は、小中高で学力向上があり、大きな成



足寄町役場

果をあげています。この二町の高校へは、7割の中学生が進学しています。また、カナダの姉妹都市の短期留学は、高校1年生の全員が参加して行っています。

この合同視察を、宝達志水町の教育向上と宝達志水町の在り方についてしっかりと考え、今後、議会として取り組んでいきたいと思っています。

町議会日誌 5月～6月

【5月】

- 10日 広報編集特別委員会
- 14日 ふるさと人口対策特別委員会
- 16日 能登地区議会連絡会監査会・総会（穴水町）
- 17日 広報編集特別委員会  
宝達高校を支援する会  
理事会（宝達高校）
- 20日 国道159号建設促進期成同盟会総会（七尾市）
- 21日 議会運営委員会  
県町議会議長会臨時総会（金沢市）
- 25日 (社)羽咋青年会議所創立55周年記念式典及び祝賀会（志賀町）
- 26日 YOSAKOIソーラン祭り出場チーム壮行会（アステラス）
- 町商工会通常総会並びに優良従業員表彰式（町商工会）
- 27日 議会全員協議会
- 28日～29日 町村議会議長・副議長全国研修会（東



議長・副議長全国研修会

【6月】

- 3日 例月出納検査
- 5日 子浦川水防事務組合議会定例会（羽咋市）
- 6日 議会運営委員会  
第2回町議会定例会開会
- 7日 病院運営特別委員会
- 9日 羽咋郡市消防団連合会
- 31日 京都）  
羽咋郡市広域圏事務組合臨時会（羽咋市）
- 10日 教育厚生常任委員会
- 11日 社会福祉法人渚会理事會（ちどり園）
- 12日 総務産業建設常任委員会
- 14日 議会運営委員会  
第2回定例会閉会
- 15日 羽咋郡市消防団連合会連合訓練大会（志賀町）
- 19日～21日 常任委員会合同視察（北海道）
- 芸能・文化の発表会「いざ！末森城ものがたり」（総合体育館）
- 24日 広報編集特別委員会
- 25日 例月出納検査（企業会計決算審査）
- 26日～28日 羽咋郡市広域圏
- 27日 宝達志水グラウンドゴルフ場）
- 28日 連合訓練大会激励式（宝達志水グラウンド）
- 31日 連合訓練大会激励式（宝達志水グラウンド）



羽咋郡市消防団連合会連合訓練大会

- 27日 事務組合行政視察研修会（新潟県）
- 28日 宝達志水水源の森づくり協会理事会及び総会
- 29日 協議会総会（能登空港）  
男女共同参画のつどい（金沢市）

広報編集特別委員会

- 委員長 塚本 勇仁
- 副委員長 小島 昌治
- 委員 守田 幸則
- 委員 土上 猛
- 委員 林 稔

令和元年8月1日 発行

■発行

宝達志水町議会

責任者 / 議長 柴田 捷

〒929-1492 石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310 (直通) / FAX(0767)29-4623

■編集責任者 / 塚本 勇仁

議会を傍聴しませんか

令和元年第3回町議会定例会を開会します。

町民の皆さんの議会傍聴をお待ちしております。

開催日時 9月12日(木) 午前10時

※会議の都合により開催時間が遅れる場合があります。

当日は、傍聴券を午前8時30分から配布いたします。

問い合わせ 議会事務局 TEL29-8310



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。